

# 議会報告会報告書

平成24年5月5日

山陽小野田市議会

議長 尾山信義 様

B班

代表 大井淳一郎

平成24年3月定例会議会報告会の実施状況について下記のとおり報告いたします。

## 記

### 1 開催日時

平成24年4月24日（火） 19:00～20:45

### 2 開催場所

高千帆福祉会館

### 3 参加人数（市民）

11 人

### 4 担当班議員名

（ 小野 泰 ）（ 吉永美子 ）（ 河野朋子 ）（ 山田伸幸 ）  
（ 伊藤 武 ）（ 大井淳一郎 ）

### 5 報告会次第

- （1） 市議会議長挨拶
- （2） 3月議会の報告
  - ① 総務文教常任委員会
  - ② 民生福祉常任委員会
  - ③ 産業建設常任委員会
  - ④ 一般会計予算審査特別委員会
- （3） 質疑応答

## 6 主な質問・意見・提言

- ① 株式の70%を売却したとしても、市が残り30%を保有したままでは好ましくない状態が続くのではないのか。

[回 答]

会社法の定める財源規制に抵触しないよう今回は70%の株式を売却した。将来的には残り30%も売却する予定である。

- ② 処分価格の評価は適正なものといえるのか。

[回 答]

国から認可された監査法人が、純資産方式及びディスカウント・キャッシュ・フロー方式の併用により算定している。

- ③ 市民が取得できるようにすべきではないか。

[回 答]

市民から別の市民へ転売等するリスクがある。安定株主の点からいって市民が取得するのは問題である。

- ④ 津波の高さと今後の見通しは。

[回 答]

内閣府の発表によれば80cm。南海トラフ地震の新想定を考慮しても+60cmである。

- ⑤ 国民健康保険料が平成23年度と同率とのことだが、県内での位置づけは。

[回 答]

所得のある人に限れば、県内でワースト1位の高さである。

- ⑥ 実質的には院外処方の方が高い。一概に院外処方がよいとは言えないのでは。

[回 答]

待ち時間が長い、薬剤師の人的費がかかる、在庫確保が必要等の理由から院外処方に移行するとのことである。

- ⑦ 災害時には現地付近の人が市民病院に避難できるようにしてほしい。

- ⑧ 市民はジェネリックのことがよくわからない。医者への指導が急務ではないか。

- ⑨ ジェネリックを使えば国保会計全体でどれくらい費用が下がり、保険料の軽減につながるのか示してほしい。

- ⑩ 小野田線の営業係数（※）は300近くあり、存続問題まで出ている。議会と市が親身になって動いてほしい。生活交通活性化協議会の様子も見てほしい。
- （※）100円の営業収入を得るのに、どれだけの営業費用を要するかを表す指数。  
主に鉄道路線やバス路線の経営状態を表す指標として使われる。
- ⑪ 事業評価は一面的ではなく全体を見据えて議論してほしい。
- ⑫ 自主防災組織の補助金が低すぎる。お金をかけるべき所にはかけるべきだ。
- ⑬ 議会基本条例第29条の定数に関する基準が曖昧である。議会寄りの方を呼んできて専門的知見と言われても困る。
- ⑭ 定数の問題は賛否両論ある。協議会のままでは無責任である。早く方向性を出したうえで市民と議論してほしい。